



## 事前評価個表

事業名	水源森林総合整備	事業計画期間	平成16年度～平成20年度
事業実施地区名 (都道府県名)	東川 (高知)	事業実施主体	安芸森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、高知県東部奈半利川上流に位置し、下流には奈半利町外3町村の水源である魚梁瀬ダムがあることから水資源確保上重要な地域であるが、砂岩、泥岩の互層で脆弱な地質であり、豪雨の都度、山腹斜面の崩壊により、森林の被害、崩壊土砂の流出が発生していた。このため、崩壊地の復旧整備、森林整備等を総合的に実施し、水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工：25基 山腹工：1.40HA 森林整備 484HA</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	841,418	千円
	総便益(B)	263,146	千円
	山地保全便益		千円
	環境保全便益		千円
	災害防止便益	3,945,590	千円
	計	4,208,736	千円
	分析結果(B/C)	5.00	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持、向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当該事業の実施により、崩壊地の復旧や溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成16年度～平成19年度
事業実施地区名 (都道府県名)	路ヶ谷山 (高知)	事業実施主体	嶺北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、高知市の北西部、愛媛県境付近に位置し、基岩は砂岩、泥岩より成り非常に脆弱な地質であり、豪雨の都度、山腹斜面の崩壊により、森林の被害、崩壊土砂の流出が発生していた。 このため、山腹脚部の固定及び溪床に不安定に堆積している土砂の流出を防止し、保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工：4基</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	108,897	千円
	総便益(B)	12,249	千円
	水源かん養便益		千円
	山地保全便益		千円
	環境保全便益		千円
	災害防止便益	487,434	千円
	計	499,683	千円
	分析結果(B/C)	4.59	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大が懸念されることから、下流域の保全等保安林機能の発揮のため当該事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当該事業の実施により、崩壊地の復旧や溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

様式 1

整理番号 1

治山事業費用対効果集計表

事業名 : 水源森林総合整備  
 施行箇所 : 東川

都道府県名 : 高知  
 (単位 : 千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	6,042	
		a-2	125,779	
	流域貯水便益	b-1	2,372	
		b-2	49,393	
	水質浄化便益	c-1	3,646	
		c-2	75,914	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	5,780	5,780 + 120,328 + 73 = 126,181 < 3,945,590 適用しない
		d-2	120,328	
	土砂崩壊防止便益	e	73	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l		
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o		
	生物多様性の保全便益	p		
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	3,945,590	適用
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便益合計 (B)			4,208,736	
事業費 (C)			841,418	千円
費用対効果分析	$B \div C = \frac{4,208,736}{841,418} = 5.00$			

様式 1

整理番号 2

治山事業費用対効果集計表

事業名 : 復旧治山  
 施行箇所 : 踏ヶ谷山

都道府県名 : 高知  
 (単位 : 千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	0	
		a-2	6,076	
	流域貯水便益	b-1	0	
		b-2	2,433	
	水質浄化便益	c-1	0	
		c-2	3,740	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	0	0 + 7,220 + 0 = 7,220 < 487,434 適用しない
		d-2	7,220	
	土砂崩壊防止便益	e	0	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l		
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o		
	生物多様性の保全便益	p		
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	487,434	適用
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便益合計 (B)			499,683	
事業費 (C)			108,897	千円
費用対効果分析	$B \div C = \frac{499,683}{108,897} = 4.59$			